

## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

<b>事業名</b>	地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 阪本工区	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	奈良県
<b>起終点</b>	自：奈良県五條市大塔町小代 至：奈良県五條市大塔町阪本	<b>延長</b>	1.4 km		
<b>事業概要</b>					
一般国道168号 阪本工区は、地域高規格道路 五條新宮道路の一部を構成する道路であり、幅員狭小・線形不良・異常気象時の通行規制の解消による走行性や信頼性の向上、五條吉野地域の観光産業や医療活動の支援による活性化を目的とし、奈良県五條市大塔町小代～阪本までの延長約1.4 kmを整備するものである。					
H26年度事業化		都市計画決定なし		H28年度用地着手	
H28年度工事着手					
<b>全体事業費</b>	約87億円	<b>事業進捗率</b>	約90%	<b>供用済延長</b>	- km
<b>計画交通量</b>	3,500台/日				
<b>費用対効果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.01 (残事業) 15.8	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 5.7/88億円 事業費：5.4/88億円 維持管理費：0.26/0.26億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 89/89億円 走行時間短縮便益：79/79億円 走行経費減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：0.81/0.81億円	<b>基準年</b> 令和4年	
<b>感度分析の結果</b>					
(事業全体) 交通量：B/C=0.9~1.1 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=14.2~17.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.01~1.02 (事業費±10%) 事業費：B/C=14.4~17.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=0.97~1.01 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=15.2~15.8 (事業期間±20%)					
<b>事業の効果等</b>					
緊急輸送道路ネットワークの機能強化 ・一般国道168号は第1次緊急輸送道路に指定されており、災害時に緊急車両の通行を確保すべき重要な路線であるため、住民の生活と安全を守る「いのちの道」としての機能を発揮することが期待される。					
救急救命活動の支援 ・地域高規格道路を整備することにより、救急出動時の安静搬送、傷病者の負担軽減等の安定した医療サービスの提供に寄与するものと期待される。					
観光産業の支援 ・旅行時間を短縮することにより、観光及び産業の活性化が期待される。					
走行性・安全性の向上 ・困難な車両のすれ違い、見通しが悪く危険な通行状況が解消されることにより、走行性や安全性の向上が期待される。					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
・奈良県、和歌山県、三重県の地元自治体4市4町3村で構成する「国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会」により、五條新宮道路の早期整備を要望されている。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b>					
事業継続を妥当と認める。					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b>					
五條市の人口で4.1千人の減少(H27 R4、13%)、交通量で383台/12hの増加(H22 H27、21%)が見られる。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
用地進捗率約100%、事業進捗率約90%					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
用地買収は完了しており、今後は早期完了を目指し、トンネルの工事を推進していく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
トンネル路側排水工にプレキャスト製品の採用による工事コストの縮減等、コストの縮減に努めていく。					

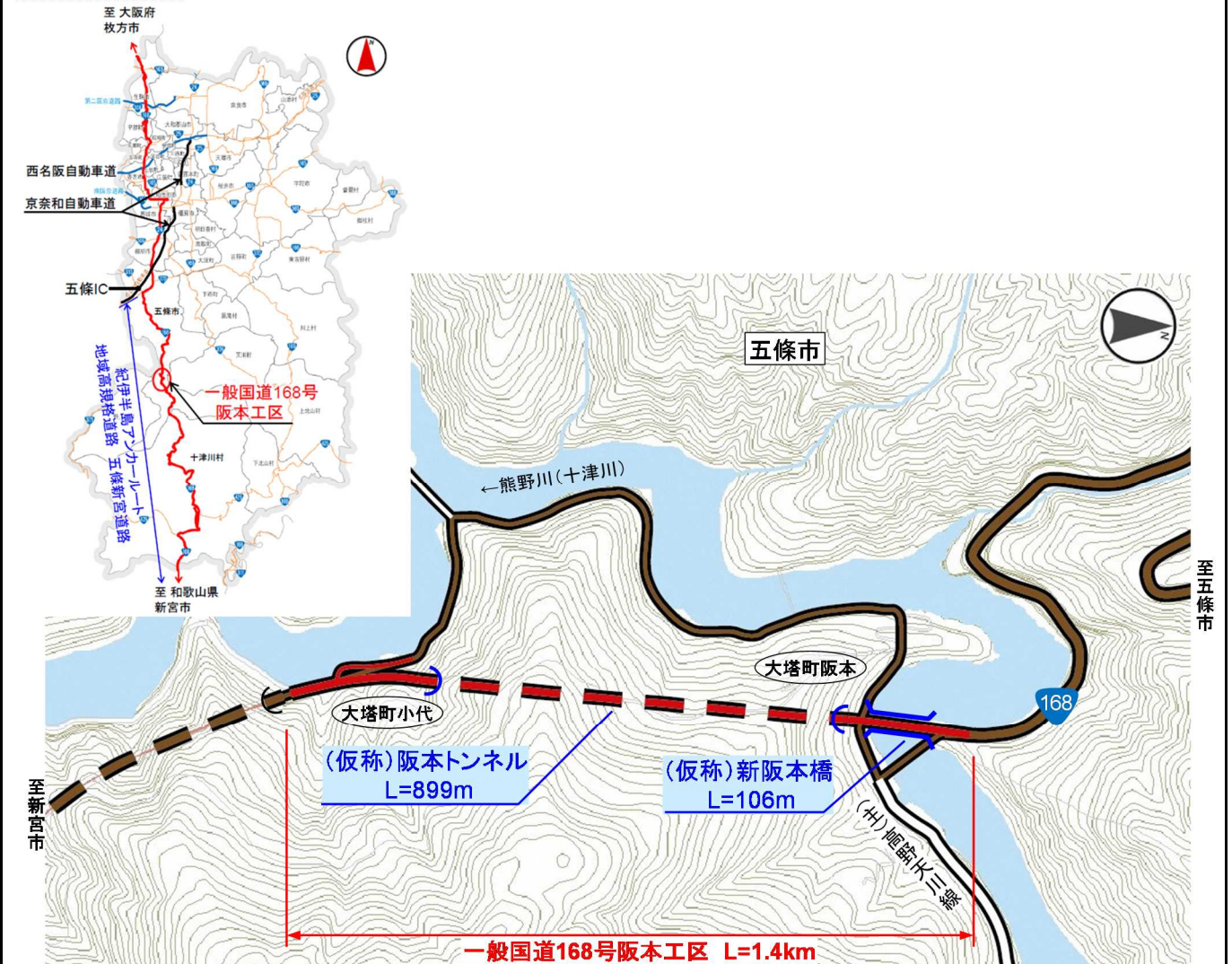
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。